

最初に右の写真は一遍上人絵伝で石清水八幡宮を訪ねて描いた絵です。その図を見ながら、当時と今と違う部分等話されました。本殿を囲むように建てられた社についてが今回の本題です。八幡宮の祭神は応神天皇、神功皇后、比売大神です。八幡は 8 つ(数多くの意味)の依り旗ということの意味したそうです。ヤハタから神仏習合してハチマンと読まれ方も変化。そして、摂社とは境内にある小さな社殿で主祭神と関係の深い神様を祀っている、末社とは主祭神とはあまり関係のない、客分の神様を祀っているという具合に考えたらいいようです(ネットから)。中世には摂社末社は 22 社もあったようで、今とはかなり違います。その中で武内社は武内宿禰が祀ってあり 5 代の天皇(景行・成務・仲哀・応神・仁徳)に仕えたといわれます。360 歳まで生きたと言われます。ただし実在したのは 15 代の応神天皇からと言われてはいますが。



一遍上人絵伝 石清水八幡宮最古の絵(1298年)ネットより

- ① 日時 2022年4月21日(木)13時30分～
- ② 講師 出口修さん
- ③ 参加費 100円

**八幡まるごと館** / 八幡市男山松里12-20 (TEL&FAX) 075-983-3664

(E-MAIL) [yawata@marugotokan.net](mailto:yawata@marugotokan.net)  
 ホームページは <http://marugotokan.net/>  
 又は、八幡まるごと館で検索して下さい



●  
 八幡まるごと館は街行く人のだれもが自由に立ち寄れる“地域サロン”です。休館日は毎週火曜日全日と土・日午後です。